

ご夫婦が5LDKを買った理由とは？



安心できる住まいだから
どんなライフスタイルでも

「今はまだ夫婦二人ですが、将来的に家族が増えることを考えたら部屋数はそれだけ多い方がいいし、LDKも広いほうがいい。子どもが3人もいなくても妻は在宅ワークなので専用部屋をつくれるし、余っている部屋は物置にもできる。あらゆる将来を安心して迎えられる間取りだからエサキホームにしました。

もし焦ってマンションを契約していたら、場合によっては途中で引越す可能性もありました。家探しの最後の最後にこの家との出会いがあったので、じっくり検討できてよかったと思います」

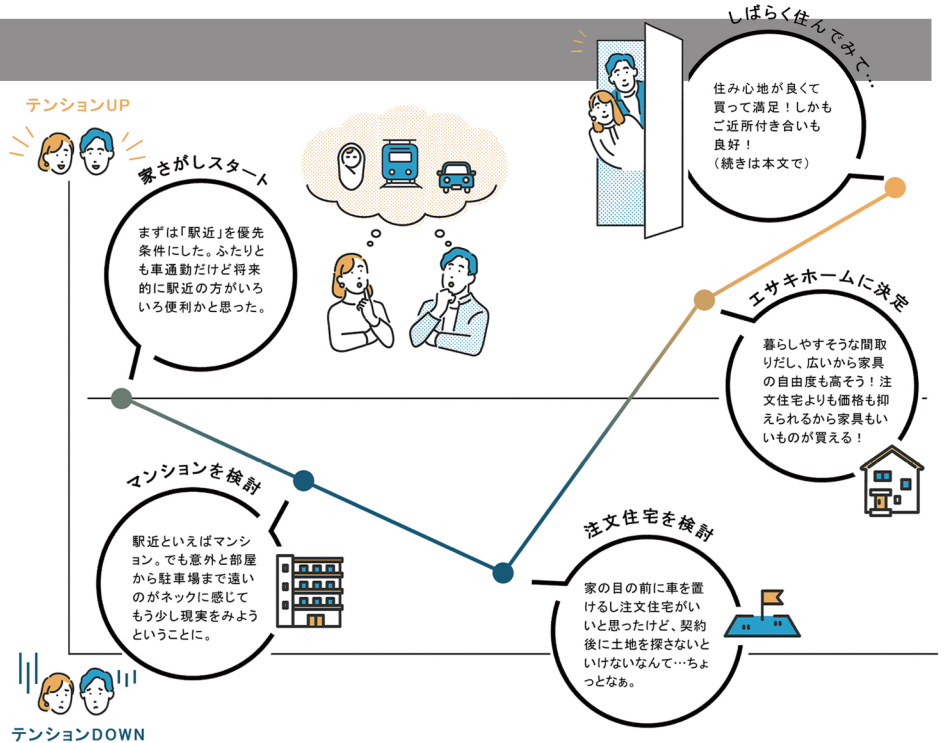
K様ご夫婦
年代：30代
家探し期間：1年半

紆余曲折ありの

私たちの「家探しSTORY」

マンションも
注文住宅も検討して
エサキホームに
決めました

家探시를始めた当初は立地優先でマンションを検討していました。しかし実際に見学してみると、ここで子育てするイメージが湧かなかったのでマンションじゃないな…という判断になりました。次に住宅展示場に行って話を聞いたのですが、契約してからでないと土地を探せない、ということに。手詰まりを感じていたところに、エサキホームの住まいとの出会いがありました。立地もいいし、災害懸念等の心配も少ない。注文住宅でこの広さで建てることと比較すれば、価格が手ごろだったことも大きかったです。



リビング+和室で
空間が広いから快適

「もともとリビングは20帖以上を希望条件にしていたのですが、エサキホームは和室と続き間だからLDKと合わせて26帖！私たちはインテリアにもこだわりたい派だったので、ソファやダイニングテーブルなどを選ぶ時も動線を塞ぐ心配がなく、お気に入りを選ばれました。スペースがあればあるほど、そこに何を置けるかを自由に決められ、『自分たちで生活空間をデザインしていける良さ』があると思います。あとは空間が広い上に収納スペースが充実しているのもポイントですね」

住んでみてわかったことは
5LDKは将来が安心

「これだけ部屋数が多ければ、将来足りなくなる心配はまずありません。こどもが増えたとしても、夫婦それぞれの個室を創れますし、妻は基本在宅勤務なので、家で仕事をする部屋にしたり、物置にしたりなど使い道が多彩にあると思っています。ライフステージが変わったとしても、安心して住めるところが良いですね」



ご近所付き合いも良好とのことでお喜びのお二人。

4人家族が思った5LDKの決め手

見学してきたどの家よりも広くて

室内が明るかった！

「家探しをしていた当時は20件くらい見学してきたのですが、どれも思ったような広さじゃなかったり、日当たりもそこまで良くなかったりで、もう少しエリアを広げて検索したところ、エサキホームのこの家に出会いました。実際に現地へ足を運んだら、ネットで見ていた間取り図よりも広く感じられて、夫婦で『おっきいね〜！』と言い合っていたのを覚えています。南面に開口が広い家だから開放的で、続き間和室でリビングと合わせて26帖を超える空間になっていたのがポイントでした。即決で契約！今までの苦労が報われました」



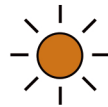
M様ご家族
年代：30代
家探し期間：1年

私たちの家探しのチェックポイントはココ！



気になった物件は必ず現地を
チェックしに行っていました

「家探しを通じて改めて実感したのは『百聞は一見にしかず』ということ。ネットでちょっとでも気になった物件は本物もチェックするようにしていました。例えば、建物と建物の距離はどれくらいか、目の前の道路は車で出入りしやすい幅か、物件周辺の夜の雰囲気はどうか、近所にどんな施設が建っているのかとか。現地にはネット上では得られない情報がたくさんあります」



同じ南向きの物件でも
日当たりの雰囲気は全然違いました

「間取り図上でLDKが南向きとなっても実際に現地に行くと、物件によって明るさの感じ方はかなり違いました。窓から見える景色とか、窓自体の大きさは現地でないと分かりません。当時住んでいたマンションよりも日当たりが良いところ、という基準で探した結果、最終的にエサキホームで納得できる明るいLDKの家と出会うことができました」



昼の雰囲気だけでなく
現地の夜の雰囲気も
見に行きました

「現地の昼の雰囲気がよかったとしても、夜の様子も見に行くようにしていました。十分な街灯で明るさが確保されているかどうか、防犯は問題ないかどうか、子ども達と夜に出歩いても平気かどうか等をチェック。一生に一度の買い物ですからね、それくらいの労力は惜しみなく使いました」

収納が多くて、整理整頓が楽しい！

「以前住んでいた賃貸マンションに比べて収納スペースの量が段違い。使っていた買い足しの収納類は不要になりました。私は特にパントリーがお気に入りです。雑貨屋さんで買ってきた小さなストッカーにラベルシールを貼って、ジャンルごとに分けることで何がどこにあるかを家族全員分かりやすくしています。おかげで『アレどこにある？』と聞かれることもなくなりましたし、息子が片付けを楽しんでくれるようになりました。あまりにもパントリーの棚いじりが楽しくて中に籠ることがあるので、上の子からは『ママの部屋』と呼ばれています(笑)」



インタビュー当日、せっせと
収納を手伝う息子さん。